

ひかりのこ

1月園便り
聖ミカエル幼稚園
2015年1月20日

保護者の皆様、明けましておめでとうございます。本年も、聖ミカエル幼稚園をどうぞお支えください。私たち職員もまず一番に、子どもたちのために努力してまいります。よろしくお願いいたします。

さて、12月10日(水)のNHKの「クローズアップ現代」は、「広がる「読書ゼロ」～日本人に何が～」というテーマで、読書とインターネット・テレビについて紹介していて、とても興味深い内容でした。

現代、本を読まない人がとても増えているそうです。ある調査で、1か月に一冊も本を読まない人が、日本人の47.5パーセント、別の調査でも40パーセントの大学生が一日の中で読書がゼロ、という結果だったそうです。

番組の中では、論文を書くとき、「インターネットだけに頼る大学生」と「インターネットで本を検索して、本を使って論文を書く大学生」の比較がされていました。インターネットだけの学生の論文内容は、検索結果をただつなぎ合わせ、幅広いテーマを述べてはいるけれど自分の意見がたったの2、3行だったのに対し、本を使った学生はテーマを絞り、深い考察を行っていました。つまり、自分の考えをしっかりと持っていたのです。

また、読書をしているときの脳の動きについても紹介していました。たとえば「トンネルを抜けると雪国であった」という一説を読むと、脳はまず文字を「視覚」でとらえ、次にその意味を「理解」しようとします。「(「どんな景色かな?」「主人公は歩いている? 汽車? どんな人?)」このとき脳はイメージを補おうと再び「視覚」をつかさどる部分を働かせます。すると、過去に見た風景をもとに、想像を膨らませ、場面のイメージが脳の中に出てくるのです。読書によるこの脳内の一連のサイクルが、想像力を養うことにつながるのだそうです。一方、テレビは次々と場面が変わるため、「視覚」から入ってきた映像を「理解」することに追われ、脳の中は一方通行で終わってしまうそうです。

聖ミカエル幼稚園の子ども達は、毎日たくさん絵本を読んでもらっています。先生やお父さん、お母さんの優しい声は、心地よい耳からの刺激として、子ども達の頭と心に入っていることでしょう。また、絵本は「絵」がついていて、内容を読み取るときの手助けにもなっていますが、きっと子供たちの頭の中では、その「絵」が、動き出したり、登場人物が本当にお話しているように感じたり、想像力がどんどん膨らんでいるように思います。そして、もしかしたら、今たくさん与えている絵本こそが、これから子ども達が成長して読書をするようになった時の「イメージのもと」になるかもしれない。想像力が養われれば、他人を思いやる心も養われますし、自分の考えをきちんと持つこともできるようになるかもしれない。そう考えると、子どもたちが素敵な大人になるために、これからも聖ミカエル幼稚園の絵本の取り組みを大切にしていこう、と改めて思いました。

園長 渡部良子

月主題：気づきあう

- ・冬の生活習慣を身につける
- ・友だちと協力し、アイデアを出し合い、工夫して遊びを充実させる
- ・お互いの違いを認めつつ、助け合える喜びを感じる

キリスト教保育

「沈黙の効用」

聖公会は、修道院の影響を残している教会です。世界の多くの修道院では今も1日8回の祈りの時(時課)を持っています。しかし実社会では1日8回の祈りは到底無理なので、聖公会はそれを2回にまとめ、朝と夕の祈りを大切にしています。札幌聖ミカエル教会でも毎朝7時から、私が教会を代表して聖ステパノ小礼拝堂でお祈りをしています。こどもたちのこと、お父さん、お母さんたちの健康が守られるように、先生たちのことも祈ります。そして世界の平和のことも。

お祈りは言葉にして祈るだけではありません。実は沈黙も、キリスト教の長い歴史の中で育まれてきた祈りの形です。「座禅」と共通するものがあるかもしれません。黙って座っていると、当然、いろいろな雑念が浮かんで消えていきます。頭の中が空っぽかと思えば次の瞬間、眠っていることもあります。でも、それでいいのです。大切なのは沈黙です。

私たちは朝から夜眠りにつくまで、色々な音に囲まれています。いつの間にか、何か音がないと落ち着かなくなっているかもしれません。そのような日常から一歩退いて沈黙の中に身を置いてみると、自分の知らない一面に気づかされることがあります。漠然とした不安のある自分、焦っている自分、怒っている自分など。せつかく身近なところに礼拝堂があるのですから、送り迎えの際などに、ぜひ礼拝堂で沈黙を味わってみてはいかがでしょうか。きっと、いいことがあると思いますよ。

さて、3学期が始まりました。年長さんは幼稚園最後の2ヶ月を過ごします。短い期間ですが、十分に幼稚園を楽しんで欲しいと願います。たくさん思い出とともに、神様から愛され、守られていることを信じて卒園式を迎えて欲しいと思います。

チャブレン 司祭 下澤 昌